

どうする どうなる 中心市街地土地区画整理事業 事業終結にむけ見直しはか？

9月定例市議会の決算審査特別委員会で、街なか対策課長は、「内容的には、太田市と同様に今後の見直しによって、事業の終結に向け、事業期間の延伸を国に認めてもらうよう臨んでいく」といったような趣旨の答弁をおこないました。



太田市の土地区画整理事業は、国の指導で事業の終結にむけ取り組まなければならないことから、事業計画の大幅な削減を図ることで、国から期間の延長を認められたようです。

「太田市と同様に」ということは、事業終結に向けた見直しをおこなうということになる

土地区画整理事業がおこなわれている本町通り ではないのでしょうか。

公共料金の値上げ、補助金カットそれでも財政は悪化 経常収支比率は104.5% 実質公債費率19.6%

2008年度（平成20年度）では、財政が苦しいということから、補助金の一律カットや下水道料金の値上げがおこなわれました。

しかし、市の財政状況はよくなり、経常収支比率は104.5%で、100万円の収入しかないの支出は、104万5千円かかっているようなものです。

これでは、市民に負担と痛みだけ押し付けただけで、夢も希望も持つことはできません。

市議会に新たな会派が誕生

これまで会派に所属していなかった金井康夫議員が、沼誠会に加入し、会派の名称も新政同志会（3人）となりました。

これで現在の市議会の会派は、日本共産党沼田市議団（2人）、公明党市議団（2人）、沼田クラブ（16人）、ぬまた政策クラブ（2人）となりました。

会派は、5会派となり、会派に所属しない議員が2人となりました。

尾合神社で秋のヤアヤアどり祭り

赤飯を参加者が奪い合う、尾合神社の「ヤアヤアどり祭り」が、4日おこなわれました。

「ヤアヤアどり祭り」の起源は不明ですが、江戸時代からつづいているといわれています。



祭りでは、スマンジュウやお菓子が投げられた後、赤飯を参加者がおひつから奪い合います。

2009年10月11日

NO.189

日本共産党 大東のぶゆき議員活動地域後援会ニュース

やまびこ

発行所 沼田市下久屋町983 TEL23-1519 部内資料



「七割軽減を受けている世帯の八・五割への軽減措置が、来年三月切れてしまうため、負担がのしかかることになるなど、後期高齢者医療制度の廃止を先送りすることは、高齢者に負担と混乱をもたすだけで、ただちに廃止させることが必要です。」

「七割軽減を受けている世帯の八・五割への軽減措置が、来年三月切れてしまうため、負担がのしかかることになるなど、後期高齢者医療制度の廃止を先送りすることは、高齢者に負担と混乱をもたすだけで、ただちに廃止させることが必要です。」

こんにちはは 大東のぶゆきです

こんにちは。民主党が「廃止」と言明していた後期高齢者医療制度をただちに廃止させないと、来年四月からは一層の負担増がおこなわれてしまいます。

後期高齢者医療制度は、二年ごとに後期高齢者の人口とかがかった医療費によって保険料が上がる仕組みになっているため、このままいけば来年四月に、はじめての保険料改定がおこなわれることになり、東京都の広域連合がこれまでの仕組みでおこなった試算では、年金収入が二百一十万円の場合、保険料が四千円から九千六百円上がり、高齢者のくらしを直撃することが明らかになりました。

さらに、扶養家族から後期高齢者医療保険に移行した人の保険料軽減措置と均等割り

ぶらり散歩 めまた道 池田地区中発知囃 福 寺

慶福寺は、今から約450年前の天文年間に創建されたといわれ、開山は迦葉山竜華院六世の天宥清文和尚です。

参道の入り口には、県指定天然記念物の「発知のヒガンザクラ」が、発知地区を見下ろす高台にあり、満開のころには多くの人を訪れています。

このサクラは、市内のヒガンザクラでは最も幹が太く、目通周囲4.65m、高さ15mで、苗代作りのころ開花することから「発知の苗代桜」とも呼ばれています。

慶福寺の墓地には、発知三郎の墓と伝えられている五輪塔の一部が残されています。

発知氏は、三浦系沼田氏の分家で、池田村史には、「文永八年（1271）三郎景宗に発知を分知せしめ、発知氏を名乗らしめた。」とあります。

発知氏の城（館）は、中発知と上発知の境あたりにあたりにあり、今でも上発知にある杭門橋といったように、当時をしのばせる名前が残っています。



今は慶福寺にある発知氏の墓と伝えられている五輪塔